

地域緑 Book プロジェクト

みどりの活動をされている団体に体験参加して、地域緑 Book を作成しています。
3月15日には、竹炭プロジェクトさんの活動地千里中央公園の竹林にお邪魔しました。竹の生長が早く、整備が追いつかないため、市と協働して月2回の間伐作業と公園全体の保全をされています。竹林整備で竹を守りながら、竹炭焼きは年10回くらい行っています。また地域の緑を守る活動にも取り組んでおられます。

「うちの団体の活動を取材してほしいな～」という、ご希望がありましたら、お知らせください。

豊中みどりの交流会
=こんな活動やっています=

みどりのカーテン・プロジェクト

昨年度は小学校でみどりのカーテンづくりに1090名の参加をいただきました。今年度も多くの学校、保育園、幼稚園、施設等から新規に取り組みたいと申し込みをいただいています。大池小学校では昨年取り組んだ生徒が新四年生に「ゴーヤの命をひきつぐために」として昨年収穫した種の引継ぎ式を実施し、種から育てることとなりました。

5月下旬から6月上旬に植付け作業が始まります。みんなでカーテンづくりを楽しみましょう。

みどりの学習プロジェクト

平成22年度のみどりの学習プロジェクトとして、今年も皆さまの役に立ち、愛用していただけるヒント集を発行していきたいと考えています。
また、4月の「新・里山ツアー」に多数のご参加をいただき、ありがとうございました。今後も同様のツアー等を企画していきますので、ご興味をお持ちの方は、みどりの学習プロジェクトにご参加ください。

花苗プロジェクト

活動拠点である「ふれあい広場 SEED」では、2棟目のビニルハウスが完成し、春蒔き種子の育苗、みどりのカーテンづくりのゴーヤ、ヘチマの種蒔きを行いました。今年も私たちが育てた花苗やさし芽を使って、花壇や育苗拠点を整備し、さらに充実した場所にしたいと思っています。
育てた花苗やゴーヤ苗は、活動場所の公園や小学校に配付し、緑化活動・環境学習に役立てていただきたいと願っています。



豊中みどりだよりは、みんなで、どンドン、りよっか（緑化）しよう！という意味を込めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。



Toyonaka Green Action

豊中みどりだより第9号

特集 福祉としてのみどり



かたつむりの
つくりごと
大池小で開催されたフォーラム2009では、大勢の子どもたちが「ゴーヤのみどりのカーテン」の生育記録の展示と、様々な感想を交えての発表をしてくれ、新鮮な驚きを持って聞き入りました。私たちの活動は、市と市民の協働の取組として、更に発展させていく中で情報発信もしています。近隣の箕面市でも関心を持たれ、フォーラムには市の担当者が見に来られました。箕面市では、新しいプロジェクト「市民プロジェクトみどり」が始まります。活動の一つに「みどりのカーテンプロジェクト」があり、その活動に参加させて頂いています。活動には大学生もおられ、若い力に期待が集まっています。

豊中みどりの交流会

みどりのフォーラム出展のご案内

みどりのフォーラムを下記日程で開催します。パネル等の出展ご希望がありましたら事務局まで、お願いします。

■日時：2010年10月31日（日）（予定）
■場所：豊中駅前エトレ「すてっぶホール」

編集後記
豊中みどりの交流会は、新活動拠点「ふれあい広場SEED」を得て新たな出会いが生まれ、さらに交流の輪が広がりました。新たに加わった方は、豊中親和会 第2みらい の皆さんです。親しく言葉を交わしながら、額に汗を流して草を耕し、花壇にかえていきました。参加された皆さんは、人が生来求めている植物と触れ合うことの楽しさを実感しているように見受けられました。今、「ふれあい広場SEED」はクリサンセマムやパンジー、ピオラが満開です。
5月6日、JCOMさんや第2みらいの皆さんと合同でゴーヤやヘチマ、ヒョウタンの種まきをしました。今年も引き続きみどりのカーテンづくりを進めていきます。
SEEDから発信する「人の和」みどりの輪が、波紋のように広がっていきますように。
(小林裕子)

4月	春蒔き種子の蒔き
5月	学習ツアー「新・里山」 ふれあい緑地フェスティバル ゴーヤの蒔き
6月	みどりのカーテンづくり講習会 全体会議 みどりだより第9号発刊
7月	活動体験会 フォーラム実行委員会 花苗植付け さし芽による花づくり
8月	みどりのカーテンツアー 全体会議
9月	みどりだより第10号発刊 秋蒔き種子の蒔き
10月	活動体験会 みどりのフォーラム
11月	学習ツアー 花苗植付け
12月	活動体験会 みどりだより第11号発刊
1月	環境展
2月	腐葉土づくり 全体会議
3月	活動体験会 次年度準備

「豊中親和会 第2みらいの取り組み」

【施設の概要・特色】

18歳以上の知的障がい者であって、雇用されることが困難な人たちが、日々家庭やグループホーム・ケアホームのもとから通所し、作業や日中活動を通して働く喜びや生きる喜びを身につけます。



人と人のかかわりを大切にする中で仲間意識を高め、社会の一員としてともに参加する意欲を培い、『生まれてきてよかった』と言える生きがいと自立に必要な生活習慣を身につけ、企業就労の可能性も求めつつ、その人なりの自立支援に努めます。



【花苗活動の様子】

第2みらいの活動に園芸を取り入れたい。何か自然を肌で感じられることはないだろうか。そんな思いの中、出会ったのが花苗プロジェクトの活動でした。昨年10月から『ふれあい広場SEED』で実施されている種蒔き・花苗のポット上げ・

定植、そして、毎日の水遣り等、色々な活動に参加させていただきました。どの活動に参加しても思うこと。それは地域の方々の「みどりに対する想い」と「優しさ」です。最初は、ポット上げや定植等のやり方が分からず慣れない手付きでこちないメンバーも、丁寧に分かりやすく教えていただく中で、コツをつかむ事ができ、少しずつ上達しました。育った苗を優しく持つ姿や毎日の水遣りを『やる!!』と積極的にやる姿が見られています。



地域の方との会話も楽しみにしているようで質問攻めのメンバーがいたり・・・。ぼつぼつと『お花きれいやあ〜』の言葉が聞こえてきたり・・・。新しい季節の訪れを、自然にふれながら実際に体感する中で、メンバーの顔にも笑顔の花が咲いています。地域に花と笑顔が増えることを願いながら・・・これからも様々な活動に参加させていただき「園芸の楽しさ」や「人や地域とのつながり」を感じられたらと思います。

(支援スタッフ 関田希美)



豊島北ビオトープクラブ

～自然環境再生拠点の創造～

★活動内容★

《日常活動》

ふれあい緑地の一角にある「服部ビオパーク」(5街区)を活動場所として、2005年より草地ビオトープや花壇づくりを始め、2007年からは豊中市との協働事業として管理を担っています。現在ではビオパークの鍵の開閉や清掃等の日常管理業務、月に数回の花壇づくり(数回/月)、草地ビオトープの植生モニタリング(1回/隔月)、一斉草刈り(数回/年)、ゲンジボタルとハイケボタルの周年飼育等を行っています。

《イベント・行事》

日常活動のほか、春・秋のフェスタ、いきもの観察会を開催し、生物展示・観察や昆虫採集、自然工作等を行って地域住民との交流を深めています。特に春のフェスタは、昨年より周辺のふれあい緑地も含めて、多くの団体が同時開催する「ふれあい緑地フェスティバル」としてパワーアップし、今後は豊中市の中心的なイベントに発展するのではないかと期待しています。そのほか、講演会(数回/年)も開催して自然環境への啓発を行っています。



《花壇のリニューアル》

ビオパークの花壇は、今年リニューアルを行いました。ひと昔前の里環境を再現する「里の庭」、



在来種を基本とする美しい野草を自生させる「いやしの庭」、季節ごとに一斉開花させる「四季の花畑」、美しい花を楽しみ、学習材料となる植物を育てる「ふれあいの花壇」と、明確なゾーン区分を行い、来訪者の目を楽しませる工夫をしつつも生物多様性に資するエコアップにつなげることを狙っています。

★水辺ビオトープ計画★

また1街区では、全国でもほとんど前例のない、大規模な都市型水辺ビオトープの造成が進行中です。本クラブは構想当初から府や市と、設計や基本理念の協議を重ね、全国に誇れるものができるかと自負しています。ここでは猪名川周辺や北摂の昔の事前環境の復元し、地域の人々が憩い・楽しみ・学習する場となることをめざします。

このように、私たちは単なる緑化活動に留まらず、豊中の自然環境再生の拠点となるべく活動を続けています。ご興味を持たれた方は、ぜひ私たちの活動に加わりませんか！

(団体の概要)

■豊島北ビオトープクラブとは

本クラブは、大阪空港騒音対策のための移転跡地(ふれあい緑地)に、生きものとふれあう自然ゆたかなビオトープをつくり、維持管理することを目的として、2004年に結成された団体です。2007年にNPO法人となりました。

■会員：70人

■活動場所：服部ビオパーク(ふれあい緑地5街区)

■活動日時：毎日

■連絡先：6864-3587(岡)

ホームページURL <http://osaka.rr.nu/bio/>